

| | | | |
|-----------------|---|-----|------|
| 教員氏名 | 辻 広志 | 職 位 | 准教授 |
| 最 終 学 歴 | 大阪市立大学大学院理学研究科後期博士課程単位修得満期退学 | | |
| 学 位 | 博士(理学)(大阪市立大学) | | |
| 役 職 | | 委員会 | 入試委員 |
| 担 当 科 目 | 「環境の科学」「食生活と健康づくり」「キャリアデザインⅠ」「教養演習Ⅰ」「教養演習Ⅱ」「卒業研究」 | | |
| 教科書・教材・教育方法の実践例 | <ol style="list-style-type: none"> 「教養演習Ⅱ(2年ゼミ)」では、樹木の葉の標本作製、作物栽培等を通して、身近な自然や生き物に関する関心を高めた。また、東山動物園や竹島水族館での生物観察を通して、生物多様性の理解を深めた。 「エコライフ実習」では、キャンパスの五感マップ作り、ミネラルウォーターの硬度調査、パックテストによる生活排水の水質調査、合成洗剤に含まれる界面活性剤の実験、漬け物の合成着色料調査、手指・食品の細菌検査、身近なプラスチック調査等を通して、生活環境に関する理解を深めた。 「環境の科学」では、記入式プリントと視聴覚教材による講義、レポート(植物の繁殖戦略、絶滅危惧生物、外来種、地球温暖化)の作成と発表を通して、生態系のしくみや環境問題に関する理解度を高めた。 「食生活と健康づくり」では、記入式プリントと視聴覚教材を使用した講義の他に、菓子パンの食品添加物調査、食品添加物の簡易実験、野菜の食卓メモ作成、食に関するニュースのミニレポート作成と発表等も行った。 | | |
| 教育研究業績 | <ol style="list-style-type: none"> 「名短キャンパス生き物図鑑 あなたも出会える 200 種」(三恵社、2023 年 2 月、単著) 「名短キャンパスにおける動物相の予備的研究」(名古屋短期大学研究紀要 第 60 号、2022 年 3 月、単著) 「女子学生の自然体験と生物形態の認識度」(名古屋短期大学研究紀要 第 56 号、2018 年 3 月、単著) 「Characterization of the adaptive morphology of Japanese stream toad (<i>Bufo torrenticola</i>) using geometric morphometrics」(Zoological Science 第 35 巻 1 号、2018 年 2 月、共著) 「霊長類の食性の起源と適応進化 ―ヒトの食生活の原風景―」(羽衣国際大学人間生活学部研究紀要 第 10 巻、2015 年 3 月、共著) 「韓国産スズガエルの繁殖生態 ―繁殖活動、体サイズ、雄の繁殖行動」(大阪薫英女子短期大学研究紀要 第 45 号、2010 年 12 月、単著) 「奥多々良木発電所ビオトープでのモリアオガエルの産卵状況」(関西自然保護機構会誌 第 26 巻 2 号、2004 年 12 月、共著) 「Reproductive ecology and mating success of male <i>Limnodynastes kuhlii</i>, a fanged frog from Taiwan」(Herpetologica 第 60 巻 2 号、2004 年 5 月、単著) | | |

| | |
|------|------------------------------------|
| 所属学会 | 日本生態学会、関西自然保護機構、日本生物教育学会、日本爬虫両棲類学会 |
|------|------------------------------------|